

新富町 議会だより

文化会館



コロナ禍、ハレノ日。

12月定例会

- 新年のごあいさつ
- 臨時会報告
- 定例会報告
- 一般質問（9人が登壇）
- 議案一覧と審議結果
- 委員会報告（基地対策特別委員会）
- 町民インタビュー（Vol.10）

114号

2021年12月

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとございませう。

町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年を健やかにお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、口頃から本議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を頂き感謝いたします。

昨年は、全国において新型コロナウイルス感染症が蔓延し、日本経済に打撃を与え、人々の生活に暗い影を落としました。また、県内や町内においても感染者が多数確認され、特に第5波は町内経済や町民生活に多大な影響を及ぼしたことを思います。

一方で新富町にとって明るいニュースもありました。まず新富テグバサッカースタジアムをホームタウンとする「テグバジャール宮崎」がJ3昇格後、初のシーズンにおいて3位という好成績を納めました。



女子サッカーチーム「ヴィアマテラス宮崎」も来季から九州1部リーグへ



建設中の新田コミュニティセンター



また現在、新田コミュニティセンターの建設が行われておりますが、支所機能の移転やコンビニ、コインランドリーや多目的広場を併設し、地域住民の利便性や地域交流が期待され、新田地区の活性化につながるものと期待しております。

さらには、老朽化したIP告知端末にかわる防災ラジオの配布が行われ、今後、本町の災害時の情報伝達手段の強化や町の情報発信につながるものと思っております。

本年も議会議員一同、町の発展や町民福祉の向上を目指し、議会活動を通じて、より多くの町民の意見をお聞きし、町当局に提案できるよう努力して参ります。

結びにあたり、コロナの早期終息を願い、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

議長 永友繁喜

配布された防災ラジオ



令和3年（第5回） 新富町議会 11月臨時会

令和3年11月26日に臨時会を開会、以下の議案を審議・可決しました。

議案第52号 令和3年度一般会計補正予算（第9回）

歳入歳出それぞれ2億5428万1千円を増額し、予算の総額は140億3434万2千円となりました。

事業名	事業費	財源内訳	説明
子育て世帯への臨時特別給付金	1億4734万4千円	1億4734万4千円（国）	新型コロナウイルス感染症の影響による給付金
三納代北地区排水路整備工事	216万6千円	98万3千円（県） 118万3千円（一般）	農用地の排水路整備
三納代北地区ハウス外構工事	2605万8千円	1183万円（寄） 1392万8千円（基） 30万円（一般）	ほ場整備及びフェンス設置
スマート農業等生産団地創出支援事業補助金	221万2千円	110万5千円（県） 110万7千円（一般）	大和地区における高収益作物の試験栽培実施
新富町商工会空調機改修補助金	400万円	400万円（一般）	商工研修センターの空調機改修に対する補助
調整交付金事業			
Web 口座振替受付システム構築業務委託	320万円	300万円（国） 20万円（一般）	インターネットで行えるようシステムを構築
道路維持事業	6700万円	4850万円（国） 1390万円（地方債） 460万円（一般）	道路舗装補修事業及び通学路区画線設置事業
道路新設改良事業	2660万円	2501万円（国） 159万円（一般）	道路改良、排水路整備
再編関連訓練移転等交付金事業			
新富スマートIC配水管・農水管移設実施設計業務委託	1550万円	1450万円（国） 100万円（一般）	配水管・農水管の移設に係る設計業務委託

※財源内訳：（国）国庫支出金、（県）県支出金、（寄）寄附金、（基）基金、（一般）一般財源

議案第53号 新富町立小中学校施設維持管理基金条例

議案第54号 物品売買契約の締結について（令和3年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 小型動力ポンプ購入）

承認第21号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度新富町一般会計補正予算（第8回））※新型コロナウイルス感染症対策事業関連

令和3年（第6回） 新富町議会 12月定例会

令和3年12月2日～14日の13日間で開催。以下は主な議案と説明です。

※議案一覧と採決状況は13ページに掲載

議案第55号 令和3年度一般会計補正予算（第10回）

歳入歳出それぞれ1億9599万2千円を増額し、予算の総額は142億3033万4千円となりました。

主な事業と予算

公共用地等敷均し工事 ※新規事業 266万9千円 133万4千円（県）133万5千円（一般） 旧富養園跡地を広場として活用するための敷均し工事を行います。	新田公民館等解体工事 ※継続事業 3934万1千円（一般） 新田コミュニティセンター建設に伴い、現在の新田公民館及び新田支所の解体工事を行います。
新富町設備投資支援補助金（農林水産、商工、医療、福祉事業者）※新規事業 3140万円（基金） 安定的な経営を支援するため、設備投資を行う事業者に対し上限10万円まで全額補助します。	新型コロナウイルスワクチン接種事業 ※継続事業 2800万9千円 2800万8千円（国）1千円（一般） 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費です。

議案第61号 町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

令和4年1月に限り、町長の給料月額を100分の50に相当する額を減じた額とする。

【総務産業常任委員会の見解】

減額の理由については「町として固定資産の償却資産の実地調査、指導を行っていなかったこと、償却資産の広報周知が足りていなかったこと」また「これまで適正に申告し納税されていた方々並びに町民に混乱と迷惑をかけたこと」とし、行政の最高責任者として責任をとるものであると説明。委員会からは「今回しっかりとした対応をすることが、責任者としての責任の取り方ではないのか」という意見も出されたが、執行部からは「しっかりとした対応を取ったうえで、行政の最高責任者のけじめとして、この議案を上程している」との回答であった。よって委員会では、その説明に基づき賛成多数で可決した。

議案第67号 公の施設の指定管理者の指定について（新田コミュニティセンター）

指定する団体 高原ミネラル株式会社

指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

【文教厚生常任委員会の見解】

高原ミネラル株式会社について、コンビニなどの販売事業としては、現在も経営を行っており問題はないと思われるが、公共施設の管理実績がないため、日常的な施設の管理運営については、注意して見守っていただきたい等の意見が出た。また利用者のニーズに応えるため、アンケート調査など積極的に実施し、地域の利便性や賑わいの広場としての拠点となるよう強く要望した。委員会では適切と認め可決した。



しもむらゆたか
下村 豊 議員

教育長

陸上競技用施設が必要では

十分認識し関係各課と協議

問 新富陸上クラブの児童生徒は、放課後に文化公園で部外指導者の下、持続走の練習をしている。好成績を上げており、しっかりした陸上競技用の施設が必要ではないか。

答 陸上競技用の施設整備の必要性については、十分認識している。今後は関係各課と協議しながら検討していく。



陸上競技場の整備に大いに期待

3回目のワクチン接種時期は

問 新型コロナウイルス感染症対策の3回目のワクチン接種開始時期等どうなっているのか。

答 追加接種として、優先順位は設けず初回接種（1・2回目）接種後、原則8か月以上経過した18歳以上の方を対象に今月から町内の医療機関で個別接種していく。

温泉健康センターの改修は

問 温泉健康センターの利用者が減少している。屋外運動場（フットボールセンター）の利用開始に併せて、更衣室や洗い場等を拡大改修して利用者増をねらってはどうか。

答 現在のところ、更衣室等の大規模な改修は計画していない。修繕等の必要が生じた場合は、適時適切に補修を行い施設管理している。

マルシヨク閉店への対策は

問 町中心部にあるマルシヨクの閉店により、周辺は買い物難民が多発、この状況への取り組みは。

答 町中心部の大型店舗閉店は大変憂慮している。本社に早急な事業承継等お願いしているが進展はない。跡地の活用は、本社と協議を継続し本町の活性化に資するよう最大限の配慮を要望している。



閉店したサンリブ・マルシヨク

土堤の整備と効果確認は

問 新田原基地の外から見ると防音土堤が完成しているように見えるが、整備の進捗と効果の確認は。

答 防音土堤は基地から10月末に整備が完了したと連絡があった。防音効果の確認については九州防衛局と協力して、騒音測定する予定であり、時期や確認方法は調整中である。

**ヴィアマテラス宮崎の
試合場整備は**

問 ヴィアマテラスの試合場は富田浜公園である。水溜り等不整地が多いので整備してはどうか。

答 スポーツ環境、富田浜公園の運動場整備については、グラウンドゴルフ、地区レクリエーション、少年サッカー、更には女子サッカーの公式試合等幅広く利用されている。修繕等を行いながら、引き続き維持管理に努めていく。



こやま さなえ
小山早苗議員

町長

「ハンドアップ運動」取り組みとして
役場前交差点をモデル地区に

交通事故防止に
役場職員全力で取り組んでいく

問 町内の交通事故の現状と対策は。

答 交通事故の発生件数と町内の第一当事者数ともに、3年連続で減少している。新富町では交通安全対策として、高齢者のサポカー補助金、ドライブレコーダー補助金、交差点のカラー舗装、止まれや車止めなどの標識、カーブミラーの設置など、より具体的に実効性のある対策を実施している。



横断歩道は手を挙げて
意思表示を



東児湯ハンドアップ運動

横断中の事故防止
視覚に訴える「ピクトグラム」

問 「東児湯ハンドアップ運動協定」の取り組みは。

答 横断歩行者保護を軸とした実行力のある交通安全対策として「ハンドアップ運動」を推進している。IP告知放送、防災ラジオ等による広報、高齢者交通安全講習会で運動の説明を行っている。また、テゲバジャーロ宮崎、ヴィアマテラス宮崎に協力団体として広報等をお願いしている。

買い物困難者の対応は

問 「しんとみSあぶ」などスマートフォン利用者には便利なサービスがあるが、高齢者でも簡単に利用できるアプリの開発やスマートフォンの貸出しなどできないか。

答 高齢者へのスマートフォンの普及やスマートフォン教室の充実など、今から力を入れていかなければいけない分野だと考える。

新田原基地の
騒音に対する対応は

問 告示後に建築された住宅への今後の防音工事の見通しは。

答 国は、騒音対策として基地周辺の騒音の影響が特に大きい場所、緊急先行的な措置を実施するとしている。実施時期は本年度中に事務的な各種手続きを終了させ、令和4年度から事業の実施ができるように準備を進めていると聞いている。

問 今回の緊急先行的な措置は長年の要望の結果で、喜ぶべきであるが、対象は騒音の影響が特に大きい80W区域とあり、これにより地域が分断されかねない。私たちが基地と共存し安心して生活するためには、75W区域の防音工事は必須ではないか。

答 75Wコンター区域も含めたすべての区域に対して、防音工事が推進されるのが当然だと認識している。先日、周辺協議会として九州防衛局に要望に行った際は、75W区域に対しても防音工事を推進させることを中心に、基地周辺対策に力を入れるように伝えてきた。回答は、これまでの「将来の検討課題」から「75Wまでの重要さも加味したうえでしっかりと前向きに検討していく」という回答に変わったので、今後も75W区域までの防音工事の推進を周辺市町一丸となり要望していく。また議会と一緒に対応していきたい。



すしこういち 議員
図師孝一

町長

消防団の装備を災害時のために充実させてはどうか

必要な機材導入は改めて検討

問 東南海地震が発生した場合、富田、下新田、上新田でそれぞれ予想される被害はどう思うか。

答 町の地域を3つに分けた場合、富田区域は津波被害が想定され、下新田区域は一ツ瀬川の氾濫が懸念材料となっており、特に上・下今町地区は浸水区域として想定されている。上新田区域においては津波被害はなく、土砂災害警戒区域も少ないなど、比較的安全な区域と想定されている。



大地震発生時は地域により予想される被害が異なる

問 救助で期待するのは地区消防団であるが、懐中電灯等の備品だけでは対処出来ない。団員各自にヘッドライトを支給したらどうか。また3地区にシヨベルカーやフォークリフト等を配置し、72時間以内に救助出来る備品なども備えたらどうか。

答 以前はミニコンボやユニット車などを町で保有しながら現場作業にあたっていたが、現在はそういった仕事をすべて外に出すようになって、重機などの機材が減っていった。もう一度、災害等のことを考えると、必要な機材等を揃えていくこと、また職員に操縦免許の取得をしてもらうことなども一つの方策だということ

とで、都市建設課には話をしたところである。



いざという時に活躍する重機だが操縦士の確保も課題である

問 役場前歩道橋を直接役場敷地内に接続できないか。避難するときに助かるし、役場から商店街に人の流れが出来る一石二鳥となると思うが。

答 歩道橋を役場まで延長する場合、耐震強度の問題もあり歩道橋全体を建替えないといけなくなる。そうなるとその費用はどこが負担をするのか、また高額な費用が必要になることも予想されるため、そこはしっかり議論していかないといけない。利便性に関しては、役場から直接渡れることは便利だと認識している。

通学路の安全確保を

問 上新田学園からの下校時に、十文字から自衛隊正門迄の間を一人で児童が歩いて帰っていると聞いた。その道は歩道の白線も消え、狭くて危険だ。グリーンベルトを新たに引いて、少しでも安心感を与えたらどうか。

答 現在、具体的にその通学路についての補修等の要望は上がってきていないが、通学路における危険箇所等の点検を定期的に行っているため、さらに確認をしていきたい。



児童が安心して歩ける歩道の整備を



まつうら みお
松浦美緒議員

町長

出生届け時のサービスとして 命名書発行を

令和4年1月より開始する

問 婚姻届は町独自のものがあるが、出生届もオリジナルデザインがあつていいと思う。町民を巻き込んで小学生から大学生など、これから新富町を担う若い世代にも参加を呼びかけ広く町民にデザインを公募してはどうか。

答 町としても検討していく。

問 婚姻届提出時の町独自の取り組みとして記念写真用パネルを作り、オリジナル婚姻届に貼れるよう工夫してはどうか。

答 出生届や婚姻届は人生においても大切な届出である。町としても記念になるような取り組みを進めていきたい。



令和4年1月よりサービス開始
出生届け時に命名シートをプレゼント
3タイプのデザインから選べるのは
うれしいですね。

子宮頸がんワクチン接種に 対する町の対応は

問 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨再開が文書通達で決定した。来年度の接種対象者人数は。

答 接種済者を除いて、小学6年生から高校1年生で合計342名である。

問 国からの文書には「接種実施医療機関の確認を取り、令和4年4月を待たず準備が整った市町村にあつては前倒し実施することも可能」とあるが、本町としていつ医療機関に確認を取り、どのように周知を行っていくのか。

答 年明け早々に接種実施医療機関にアンケートを行い、医療機関と相談しながら接種体制を整備し、個別通知したい。

問 国からの通知を受け、早速ホームページを更新した自治体があるが本町の考えは。

答 先進自治体のホームページを参考にし、周知を検討していきたい。

問 定期接種対象年齢を過ぎてしまった方々への救済処置の声も高まっている。接種費用の助成を独自で行っている自治体もあるが、本町の考えは。

答 国の動向を踏まえ、どのような経緯で独自の助成事業を

行っているか調査研究していく。



障がいのある方たちにも
利用しやすい図書館に

「読書の町しんとみ」について

問 読書バリアフリー法に基づく本町の現状と今後の展望は。

答 図書館には「みんながキラリコーナー」と称して点字本・大活字本・布絵本や朗読CDなどを集めてコーナーを設けている。町独自としてチャレンジ雇用の方に、点字本の題名一覧を作成してもらい簡単に点字検索できる取り組みを行っている。今後も障がいのある方が、少しでも読書の恩恵を受けられるよう努力していく。



よしだ たかゆき
吉田 貴行 議員

町長

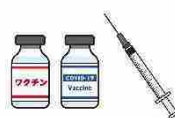
告示後住宅の防音工事

国との交渉は

周辺協議会で要望活動を行った

問 告示後住宅の騒音対策について、この間、国とはどのような交渉をしてきたのか。

答 10月に新田原基地周辺協議会を開催し、国が示した緊急先行的な措置を実施する考えを評価する一方、対象となる区域や期間が今後の課題として、国に対応を求めることを確認した。これを受け、12月2日に周辺協議会から九州防衛局に対して、「対象となっていない75W区域に所在する住宅についても防音工事の対象とすること」、「住宅防音工予算の安定確保」、「第一種区域内に所在し、平成15年8月30日以降に建築された住宅への防音工事の実施」等について要望してきた。



株
オミクロン
3回目接種
心配される
抑え込むこ
ができるか

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルス対策について、今後の対応は。

答 引き続き感染状況に応じた会食時の「みやぎモデル」の推奨や公共施設等の利用制限など、本町の対応方針に基づき感染防止対策の取組みを行っていく。また12月1日から開始する追加接種（3回目接種）も初回接種（1・2回目接種）と同様、接種を希望する方が全員接種できるよう、町内医療機関と連携しながら取り組んで行く。

町中心部のスーパー閉店

問 マルシヨク撤退後の町としての対策は。

答 町中心部の大型店舗の閉店は、町民の利便性が大きく損なわれる事態と認識している。現在はある程度議論をしており、町の考え方もお伝えしながら協議を進めているところである。また、交通手段を持たない高齢者等の方々につきましては、コミュニティバスや乗合タクシー「トヨタク」をご利用いただき、他の店舗での買い物にご活用いただけるよう、町営公共交通の広報にも一層注力していく。



コミュニティバスの利用も
多かったマルシヨク

ヤングケアラーの対策は

問 ヤングケアラーの本町での実態と対策は。

答 本町で把握している件数は3世帯、4名の児童・生徒に対し、新富町こども家庭総合支援センター「パプリカ」で訪問支援等を行っている。直接自宅や学校へ出向き、本人、学級担任、必要に応じ児童相談所に加わって頂き、それぞれの家庭が抱える複雑かつ重層的な問題課題について、関係機関の理解、協力を得ながら対応している状況である。

※「ヤングケアラー」とは、家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子どものことです。



実態は把握している以上の件数が予測される



いしざきしゅんじ 議員
石崎 俊二

町長

災害時における 地区としての役割は

避難困難者の把握と避難補助
で被害者減少につながる

問現在、役場敷地内に防災倉庫の設置及び整備を行っていないが、その詳細は。

答令和2年度に実施設計を行い、令和3年度から用地整備工事及び建築設計を行っており、令和4年度中の完成を目指している。防災備蓄倉庫は、水や食料のほか、発電機などの防災資機材を備蓄・保管する。また鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病が発生した際においても、防疫作業に必要な資機材等を保管し、発災初期から終息まで、迅速に対応するために設置するものである。

問災害時における地区としての役割を、町はどのように考えるか。



役場東側の用地整備がほぼ終了した
現在は駐車場として活用されている

答大規模災害の発生時には、火災の同時多発の危険性が高く、また消防車両の通行不能、消火栓の使用不能が想定されるため、地区で結成されている自主防災組織を中心とした、初期消火活動が必要である。また高齢者が多く住んでいる地域では、避難困難者が多数いると考えられるため、そのような方を把握して、避難補助を行うことで被害者の減少につながる。



音更充
住宅防の拡充
工事なる望む
住工なを

新田原基地周辺対策

問F-35Bの配備計画発表以降に、新たな防音対策が提示されたが、住民の反応や要望は。

答国が住宅防音工事の対象を拡大する騒音対策案を周辺自治体に示していることの新聞報道がされた以降、対象となる区域の確認や実施時期の問い合わせをいただき、特に平成5年7月2日以降に建てられた告示後住宅への防音工事の早期実施に対する多くのご意見をいただいた。また、10月に開催した区長会の中でも告示後住宅への防音工事の早期実施、予算の確保、基地周辺整備事業の充実、テレビ受信料の見直し、電気料金の助成、防衛関連交付金の増額等、多くのご意見をいただいた。

町内事業者へ 新たな経済対策は

問コロナ対策として新たな経済対策は。

答本議会の一般会計補正予算で提案しているとおり、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者が、事業の経営安定を図るため再投資を行う場合、その費用の一部を上限10万円まで、10割補助することとしている。今後も、国・県の動向を注視しながら、町内事業者の支援及び経済活性化策を講じていく。



オミクロン株は心配されるが
感染者の減少により人の動き
が活発化してきている



問 本町の目指す農業と有機農業の推進について。

答 農業従事者の高齢化や担い手の減少、人手不足等に伴う労働力の低下など、農業を取り巻く情勢は厳しい状況である。本町とJA児湯と一体となり、次世代に繋ぐ人材を育成し農家の生産活動を支援する。有機農業の推進にあつては、国の方針に従い関係団体と協力し推進する。

よしだけんいち
吉田憲市議員

町長

有機農業の推進方策は

関係団体と一体となって推進する

新たな観光資源の発掘を

問 町内にある観光資源の活用策を見直し、新富町のシンボルとなるような集客施設を建設、さらに新田原基地を活用して点から線でつながるような観光資源を発掘できないか。また予算についてはF-35B対応で国に要求すべきではないか。

答 新田原基地を活用し本町の特色を生かした教育旅行等を推進するとともに、町内の代表的な観光資源である座論梅や湖水ヶ池の蓮の花、そばの花など見ごろの時期に合わせてイベントを開催し、町内外からの誘客に努めていきたい。

トヨタ自動車物流センター建設について

問 トヨタ自動車物流センターの造成工事が始まっているが、雇用はどうなるのか。またスマートインターチェンジに直結する道路が必要なのではないか。

答 令和4年末に完成予定で雇用は80名から100名程度。スマートインターチェンジの開通を見据え、アクセスルートを総合的に判断し道路整備に取り組んでいきたい。



新富町文化会館西側の工事現場

高齢者の現況と対策は

問 高齢者人口の現状及び今後の推移について。

答 令和3年11月1日現在で65歳以上の高齢者は5370人、高齢者一人のみの世帯は1408人、二人以上の世帯は1105世帯となっており、今後増加すると思われる。

問 健康寿命延長対策について。

答 特定健診や各種がん検診の実施、介護予防を目的に通いの場の体操教室総合事業等の支援を行っていく。

問 老人ホーム等の現況と今後の推移について。

答 入所施設として住宅型有料老人ホーム8箇所、その他の入所施設6箇所あり、全施設374名の定員中331名が入所されている。今後高齢者人口が増加することにより施設を必要とすることが予想されるが、地域包括ケアシステムを推進していくことで住み慣れた自宅で安心して生活できる体制を整え健康寿命延長対策に力を入れていきたい。



あまんせいろう
阿萬誠郎議員

町長

高齢者に

スマホ購入費の補助は

何らかの手だてが必要である

問 官民デジタル化推進に向け
シニアのスマートフォン購入
費を補助しては。

答 ーP告知放送も令和4年3
月末に終了予定であり、高齢
者の利便性の確保からも、高
齢者向けのスマートフォン購
入補助など、何らかの手だて
が必要である。



高齢者にもスマホ広がり

職員の健康管理の取組みは

問 職員ひとり一人が、心身と
も健康で安心して職務を全う
できる環境づくりへの取組み
は。

答 ①メンタルヘルスカウンセ
リング年5回、概ね1回につ
き2名程、それぞれ1時間程
度行っている。②全職員対象
にストレスチェックを行い、
高ストレス者には、産業医の
面談を行っている。また各課
の管理職が面談等により悩み
を聞いている。③カスタマー
ハラスメントについて、外部
から受ける嫌がらせや過度な
クレームは個人対応するので
はなく、組織やチーム対応を
行っている。④就業環境の向

上については、職場の物理的
レイアウト、労働時間、作業方
法、組織、人間関係など改善し、
ストレス軽減、メンタルヘル
ス不調予防と良好な職場環境
を作るため、あらゆる面から
取り組んでいく。



職員メンター制の研修風景

新田小学校講堂建替えは

問 新田小講堂は築47年経過
し、広範囲に劣化の診断がさ
れているが、建替えの立案は。
答 現状では長寿命化改修によ
る「延命措置」の実施を考えて
いる。



新田小講堂 卒業式の風景

「イメージハンプ」の設置を

問 通学路等、安全対策に、立体
的「錯視」を利用した「イメ
ジハンプ」の設置を。

答 交通安全対策の一環として、
設置方法など調査研究等を行
っていく。



錯視効果で減速！
「イメージハンプ」



でくちきじゅうろう
出口喜重郎議員

町長

農業支援、町の対策は

収入保険制度の利用を促進

問 新型コロナウイルス感染症が落ち着きを取り戻すなか、原油価格が高騰し、資材費も上昇、野菜類に関しては安値傾向が続いている。このことを踏まえて、六つの対策について伺う。まず、ハウス園芸用の燃油高騰に対する対策は。

答 計画的に省エネルギーに取り組む産地に対し、施設園芸セーフティネット構築事業に着手し経費削減を目指す。

問 資材費上昇に対する対策は。

答 生産コスト、生産体制等経費全般の見直しを関係機関と協力しながら行っていく。また今年度から3ヶ年事業で施設園芸生産基盤支援事業を行っていく。



野菜のまち新富町
今できる対策を活用していく

問 農産物の低価格に対する対策は。

答 平成31年から、野菜を含め品目にとらわれずに収入減少を補填する収入保険制度が導入されている。町としては、収入保険に継続および新規加入した方への保険料の一部補助を行うこととしている。



原油価格高騰で農業だけでなく多方面に影響が及んでいる

問 畜産業の飼料高騰に対する対策は。

答 現在、配合飼料価格安定制度による補填金が発動されており、今後も状況を確認しながら対策を検討する。

問 米価格急落に対する対策は。

答 収入減少影響緩和対策（収入保険）に加入することで、自然災害や米価下落による経営リスクの対応が可能であると考えている。

問 農業関連の予算増額は考えていないか。

答 県やJA児湯など、関係機関と連携し、必要な予算について確保していきたい。



現在では多くなった
体験型の修学旅行

問 平成23年度から29年度にかけて、奈良県山辺高等学校山添分校の修学旅行を兼ねた農業体験実習を受け入れていたが、突然中止となった。その理由と、事業再開の考えは。

答 中止した理由は、収支面で赤字であったこと。実習した生徒が本町での就農に繋がる可能性が低いこと。受け入れ農家の確保や調整、労務負担が大きかったことなど、本事業を継続する費用対効果が見いだせなかったためである。再開する考えは、今のところはない。

農業体験実習受け入れを
中止した理由は

令和3年12月定例会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第 55 号	令和3年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第 56 号	令和3年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第 57 号	令和3年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 58 号	令和3年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第 59 号	令和3年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計補正予算	可決	全員
議案第 60 号	令和3年度新富町水道事業会計補正予算	可決	全員
議案第 61 号	町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	多数
議案第 62 号	新富町企業立地促進条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 63 号	新富町税条例の一部を改正する条例	可決	多数
議案第 64 号	新富町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 65 号	新富町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 66 号	新富町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 67 号	公の施設の指定管理者の指定について(新田コミュニティセンター)	可決	全員
議案第 68 号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町農業生産振興施設)	可決	全員
議案第 69 号	新富町道の路線認定及び廃止について	可決	全員
議案第 70 号	工事請負契約の締結について(令和3年度防衛施設周辺民生安定施設整備事業 新富町屋外運動場建設(建築主体)工事)	可決	全員
議案第 71 号	工事請負契約の締結について(令和3年度防衛施設周辺民生安定施設整備事業 新富町屋外運動場建設(電気設備)工事)	可決	全員
議案第 72 号	工事請負契約の締結について(令和3年度防衛施設周辺民生安定施設整備事業 新富町屋外運動場建設(機械設備)工事)	可決	全員
議案第 73 号	工事請負契約の締結について(令和3年度防衛施設周辺民生安定施設整備事業 新富町屋外運動場建設(土木整備)工事)	可決	全員
議案第 74 号	工事請負契約の締結について(硬質フィルムハウス新設工事)	可決	全員
発議第 5 号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書について	可決	全員

議案審議結果

新田原基地施設整備工事及び盛土設置状況視察（12月16日）



基地内施設整備工事による残土を利用し、基地西側に高さ約4mの盛土を設置した。セキュリティ面での効果はもちろん、地上騒音に対する防音効果も期待される。今後音量の測定も行われる予定。

委員会報告

基地対策特別委員会

令和3年11月17日 要望活動

防衛省・航空幕僚監部・総務省

7月に「新田原基地がステルス戦闘機F-35Bの配備基地として最適である」との説明を受け、その後、防音工事の対象範囲の拡大を提示してきた。新富町長は「受け入れを前提に協議していく」と発言し、騒音対策等の諸課題を進展させていく旨を示唆した。新富町議会も「新田原基地周辺騒音対策に関する意見書」を採択し、国に対し意見書を提出、そのような中での今回の要望活動となった。

これまで実現していない要望を引き続き行うことはもとより、今回は、新たな飛行隊が配備されれば、飛行回数が増加することから、防音工事の対象範囲の更なる拡大を求め強く要望した。また今回の要望では、住民目線での意見を率直に訴え、これまで我慢してきた住民感情に理解を求めた。

今後は、町執行部の協議等を注視しつつ、議会も騒音対策等を進展させるため情報収集に努めたい。



鬼木防衛副大臣へ要望書を提出

防衛省地方協力局長へ直接要望

【委員】防音工事の方法を、一番有効な外郭防音工事にしてもらえないか。

【局長】今回は緊急の措置ということで提案させてもらっている。

【委員】町内で働いている方は、日中も職場事務所や現場において、騒音にさらされている。せめて事務所の防音工事をお願いしたい。

【局長】我々としても重く受け止めなければならぬ。将来に向けての検討課題であり、しっかり受け止めて対応しいければと思う。

【委員】並んで建っている家が騒音コンター線の80Wと75Wで分けられている。住民から不満の声が出ているが。

【局長】測定した結果としてコンター線を引いて、施策をするというのが今の形となっている。地域が分断されることについては、どうすればいいのかわからないところである。我々としても、いろいろと考えていきたい。

【委員】まずは、これまでの要望を速やかに実現すること。他に通話障害における電話料金の補助、BS受信料等々、今住民の要望は多様化している。空調機使用による電気料の負担も大きい。防音効果の高いペアガラスへの補助など、ご検討いただきたい。

【局長】いずれも包括的に今お答えするのは難しい。ペアガラスの話も出ましたが、かなり一般的に使われるようになってきているので、そういったことも含めてよく検討していく必要がある。



航空幕僚監部へ

町民インタビュー Vol.10

聞かせて！あなたの未来

火の用心 マッチ1本火事のもと

～新町はやぶさ少年消防クラブ～

主な活動（毎年開催）

- ◆夏休み防火・防災教室
- ◆防火ポスター作製
- ◆年末火の用心パレード

過去の活動

- ◇避難体験会（平成 30 年）
- ◇みんなの防災かまど体験会（平成 30 年）
- ◇消防団出初式に参加（平成 29 年）
- ◇防災かまどベンチ作成（平成 28 年）



町民インタビュー

地元消防団員と共に恒例のイベント「年末火の用心パレード」を行いました。クラブの結成は昭和 56 年 5 月 20 日。令和 3 年に 40 年を迎えた歴史あるクラブです。会員は新町地区に住む新町子ども会の小 1 から小 6 までの現在約 70 名が在籍。地元で長年続いてきたクラブなので、これからも次世代に引き継いでいきたいと思います。

新町はやぶさ少年消防クラブ会長 相馬 玲

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年も一昨年同様、新型コロナウイルスの影響を受けた一年でもありました。オミクロン株という変異株が世界中で蔓延しており、一時も気の抜けない日々が続いております。一日も早くコロナが終息してくれることを切に願っております。

さて、今年 4 月には「新田コミュニティセンター」が完成する予定です。新田支所としての役割の他に、コンビニやコインランドリーが併設されます。地域の利便性や賑わいの場の拠点となることを期待しております。

今年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

おおき

議会広報特別委員会

委員長 石崎 俊二
副委員長 小山 早苗
委員 松浦 美緒
出口 喜重郎
大木 俊二
吉田 憲市

【連絡先】議会事務局

☎33-6139